

年 組 名前：

中学授業 6年生に紹介

昭和 3小学校で押原中教諭



理科の実験を体験した6年生

＝昭和・西条小

昭和・押原中は、町内3小学校の6年生を対象に出前授業を行った。小学校から中学校へのスムーズな移行を促すのが狙いで、中学の教諭が授業内容を紹介した。

3小学校で各1回実施。2月9日には西条小の6年生3クラスで数学、理科、技術の授業を行った。このうち理科の授業では、押原中の担当教諭が、フラスコにゆで卵を入れる方法を考える実験を紹介し、ゆで卵を出し入れできる原理を説明。「中学では日常生活に役立つことをたくさん

学べる」と話した。6年の大堀暖さんは「中学の勉強を知ることができて、楽しみになった」と感想。藤網悠飛さんは「不安もあるけど、学校生活や勉強の様子が参考になった」と話していた。押原中は従来、新入生に中学の授業を参観してもらっていたが、より身近に感じてもらえるように、初めて小学校に出向いて体験型の授業を企画した。児童の反応などを踏まえて、新年度以降の方法を検討する。

〈杉原みずき〉

(2023年3月2日付 山梨日日新聞 18面)

問1

昭和町・押原中学校の教諭が、町内の小学校で出前授業を行いました。

その理由を教えてください。

.....

問2

西条小学校では、何の授業を行いましたか。

.....

問3

今年の出前授業は、今までとは違う取り組みです。以前は、何をしていましたか。

.....

問4

あなたなら、中学校の何を体験したいですか。自由にたくさん書いてください。

.....

.....